

江北町

議会だより

令和7年
12月定例会
令和8(2026)年
2月1日発行
.....

No. 177

CONTENTS

- 一般質問 (9人)
- 各常任委員会Q&A／条例改正
産業厚生常任委員会視察研修／議長交際費
- 編集後記

編集・発行／佐賀県江北町議会広報特別委員会

江北町で引退競走馬の次の活躍の場づくりを支援している「CLUBRIO (クラブリオ)」

午年に、馬ふん・たい肥で育てた大麦で、ウマイビールを造ろうという取り組みを進めています。年末には450ℓのビールができる見込みです。

田村 康 議員
たむら やすし



今後どうなる町営タクシー

町長 令和8年4月より無償運送で町営タクシーをスタートする

議員 町は、令和8年4月の開業に向けて町営タクシーの準備を進められているが、住民のニーズを反映した町営タクシーとなっているのか。

町長 令和8年4月からまずは、利用者、利用エリア等一定の制限を設け、無償運送で町営タクシー事業をスタートする。住民のニーズは多岐にわたるためすべてに答えられるとは思っていない。



ニーズを反映した町営タクシー

議員 12月末で民間タクシー事業者の江北営業所の廃止が予定されている。これまで構内

タクシーとして午前8時から午前0時過ぎまで運行されていたが、この事業者撤退後の対応はどうなるのか。



北海道増毛町の町営タクシー

町長 現在の事業者の撤退後は、町内外のタクシー事業者が構内タクシーの申請をJRにしており、今後は新しく指定を受けた事業者が対応することになると思う。

議員 来年4月の町営タクシー開業の前にして再度、地域公共交通会議を開催する必要はないのか。

町長 本来の会議の目

的である関係機関の利害調整の場として会議を開催する必要はないが、町営タクシー開業、構内タクシー事業者の変更、さらには生活交通

不法投棄対策強化の考えは

町長 これからは摘発・検挙に軸足を移す

議員 10月上旬、上惣区の東堤でこれまでに例のない大量の不法投棄が発生した。町内では、他の場所でも常習的なごみの不法投棄が確認されている。不法投棄対策として監視カメラを設置されたが、さらに設置台数を増やすことはできないか。

町長 不法投棄対策については、今後、啓発、警告の対応から、摘発、検挙に軸足を移していきたい。不法投棄の証拠を押さえる手段として監視カメラの増設を

路線バスの問題など町のこれからの公共交通を考える、意見交換の場として会議を開催したいと思っている。

検討し、来年度予算に計上を検討したい。



不法投棄（上惣 東堤）



議員 不法投棄常習箇所には、職員による巡回を強化していただきたいが。

町民生活課長 現在、

職員による不法投棄箇所の巡回を月2回実施している。今後は、常習的な不法投棄箇所には、監視カメラの設置に加え、職員による巡回を増やすとともに、警察にもパトロールの強化を依頼するよう考えている。

議員 雑草の管理が適切に行われていない道路沿いによくごみが捨てられているため、除草の回数を増やすことができないか。

地域づくり課長 恒常的な不法投棄場所、その沿線については、町民生活課と連携し、不法投棄対策と合わせ、除草回数を増やして実施したい。

江頭 義彦
議員



心に響く講演会の開催を

教育長 子供たちの、ニーズをしっかりと把握して適切に設定したい

「中学生の学習状況に関する調査」の結果

1. やる気や集中が続かない	47.3%
2. 暗記が苦手	11.6%
3. 志望校対策が不安	7.2%
4. 部活と両立ができない	6.6%
5. 勉強しても成績が伸びない	6.1%
6. 模試の得点が伸びない	5.6%
7. 特に課題はない	5.4%
8. 勉強のやり方がわからない	5.4%
9. 目標が持てない	3.8%
10. 授業の内容がわからない	1.0%

教育長 一人一人の心にやる気の火をともしていきたい。具体的な取り組みとして他市町に先駆け、英語検定受験料の補助や受験級別の学習会を実施し、一定の成果をあげた。今後、学校、家庭と連携して児童、生徒の意欲向上、学力向上に取り組んでいくのか。

議員 子供たちの現状、学習・生活態度、学力等の状況はどうなっているのか。
教育長 県の学力調査や国の学習状況調査の分析、授業の様子を踏まえると学習・生活態度とも落ち着いている。調査の結果、学校が楽しいと答えた割合が全国平均より高い。ただ、個人差が大きく、主体性に欠ける子供も少なくない状況。学習面で

は授業が楽しい、授業が分かれると回答した割合が全国平均より高くなっているが、家庭学習時間が短く小学校、中学校ともに教科面の学力は、必ずしもいい結果とは言えない。不登校の実態は、全国の傾向と同様に小・中学生とも微増ではあるが年々増加傾向にある。
議員 子供たちの現状をみて、具体的にどのような事に取り組んでいくのか。



子供たちの学力向上

議員 子供たちの心に響く、やる気を引き出す講演会を計画しては。
教育長 講演会は、子供たちに直接やる気を訴えるよい機会。子供のニーズをしっかりと把握して適切に設定していきたい。

でいきたい。
町長 教育委員会には町の子供たちのために学習習慣の定着を図り、行動変容を起こすような取り組みをしていただきたい。また、生涯の友や人生の糧になり得るものを見つける機会等を多くつくるのが大事だと考えている。

ゲートの電動化 進捗状況は

町長 電動化を加速化させる必要がある

議員 ゲートの電動化は、何地区、何か所設置の要望が出ているか。

地域づくり課長 設置箇所の要望はとっていないが、本年度の設置箇所は、排水対策連絡会で協議し、決定した。

来年度も連絡会に諮り、優先順位を踏まえ、決定していきたい。
議員 電動化に対応できる業者は何社あるのか。

地域づくり課長 現時点で安価に製造できる業者は白石町の1社のみのため、他の市町からも多く受注されている。その結果、町の整備がなかなか進まない状況。町内全域への展開、町の財政を考えると、ノ



施設から集中管理 出典：ヤマウラ(株)

ウハウを町内業者に学んでいただき、安価に製造できる業者を増やすことが重要と考えている。
議員 将来的に現場に行かず、モニターを見てゲート操作できる遠隔制御システムを検討してはどうか。
町長 町内で設置必要箇所が約130か所ある。遠隔化の前にまずは、電動化を加速化させる必要がある。今の課題は技術移転であり、いろいろな事業者製造をお願いしている。

三苦 紀美子 議員



ビッキーのネオンサインについて

町長 点灯による影響を十分に検討できていなかったことが現在の状況につながっている

議員 ビッキーのネオンは、町のPR、「ビッキーのかえる」無事に帰る」との願いを込めて、平成13年に設置された。しかし、現在、ネオンは消灯され、約1年が経過した。

今後、再び点灯するようお願いしたいが、今後の対応は。

町長 色々な経緯があり消灯となった。ネオン設置当初において、ネオン点灯による影響など、将来的な維持管理に関する十分な検討ができていなかったことが現在の状況につながっていると思う。

エキ・キタの状況は

町長 町が関与してデコ入れをしていきたい

議員 現在のエキ・キタの店舗営業状況等はどうなっているのか。



新店舗オープン予定 エキ・キタ

地域づくり課長 新たに2店舗がオープン予定。既存の6店舗の営業時間は、昼営業が4店舗、夜営業が2店舗。日曜、月曜を休みとしている店舗が多い。

議員 運営形態が変更されたが、変更によりどのような影響があったか。

地域づくり課長 今年度は、民間並みの家賃徴収、トイレ清掃を出店者から業者委託に変更、JRふたつ星おもてなしの出店数拡大を行う

た。新規出店者にもふたつ星おもてなしに積極的に協力をいただいており、バリエーションが増え、良い影響があったと思う。

町長 現状、多岐にわたる懸案事項を抱えているため、町が関与し、時間を要すかもしれないが、環境整備、改善などデコ入れを行っていきたく思っている。

江北町総合排水計画の推進は

町長 内水解析より関係市町で対策をしていただくことが重要

議員 江北町総合排水計画策定の背景に対策推進は、「急務」とされているが、この急務について町の考えは。

総務政策課長 総合排水計画は、基本方針に「町制100年のため

の総合排水計画」を掲げており、短期、中期、長期といった計画期間において効果的な対策を段階的に実施している。最終的には令和34年の町制100年を安心・安全な町として維持することを目指している。

議員 町の排水対策の3つの柱「流す」「溜める」「防ぐ」のうち他市町からの内水被害を防ぐ対策が未解決となっているが、この問題について町の対策はどうなっているのか。

地域づくり課長 牛津町、永田地区、大町町高良川からの流入については、小城市、杵藤土木事務所が内水解析を実施されているが、その解析結果を提供いただいていない。引き続き情報提供を求めながらやるべき対策を優先して進めていきたい。

町長 内水被害は、関係する市町が共通する課題であると認識している。内水解析や被害軽減の方策は、まず関係市町において江北町への流入を防ぐ対策を検討していただくことが必要だと思う。

議員 総合排水計画では、取り組むべき課題として内水被害の軽減効果を図る「内水対策シミュレーション」を実施することが重要とされていたが、なぜ未だに実施されていないのか。

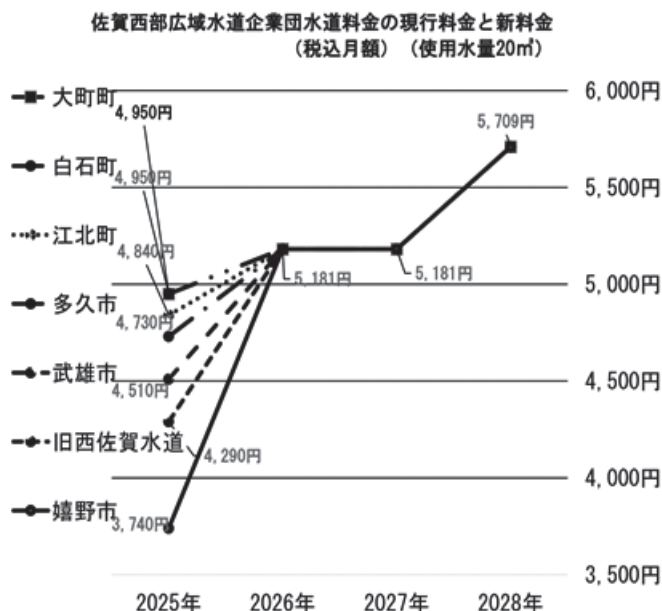
町長 内水解析よりもまず、町外から流入する水をいかに抑えるか、関係市町において江北町への流入を防ぐ対策をしていただくという事が重要だと考えている。解析よりも関係市町と連携、協力する体制づくりに注力する必要があると思う。

土瀨 茂勝
議員



水道料金引き上げについて 町長の見解を問う

町長 江北町としては反対した



議員 今回の引き上げは20トン使用で平均約30%の大幅な引き上げとなる。町民の暮らし、営業にも大きな負担増となる。改定後の料金について町長の見解は。

町長 一定の引き上げはやむを得ないが、引き上げの内容にももう少し議論が必要であり、料金引き上げにあたり、企業団において人件費削減等不断の見直しが行われているの

か疑問を持ったため、今回の引き上げ案に反対した。

議員 料金体系に口径の大きさで料金を区分する「口径別料金」が導入され、算定は基本料金と従量料金を組み合わせた二部料金制に変更されるが、口径別料金体系が導入された経緯について説明を。

町民生活課参事 水道施設整備費用は、費用負担の公平性の観点から、

佐賀県内市町の水道料金

単位：円 (税込)

市 町	10トン料金	20トン料金
佐賀市	1,573	3,872
唐津市	1,785	4,810
鳥栖市	1,815	3,630
伊万里市	2,310	4,950
鹿島市	1,936	4,356
小城市	1,815	3,751
玄海町	2,725	5,027
有田町	2,069	4,247
太良町	1,452	3,388
佐賀東部水道企業団	1,573	4,356
佐賀西部広域水道企業団構成市町 武雄市、多久市、嬉野市 大町町、江北町、白石町、白石町福富の一部 小城市三日月町の一部、牛津町、芦刈町	2,519	5,709

*佐賀西部広域水道は、2028年度以降の口径13ミリの場合の「新料金」

基本料金で固定的に回収することが望ましいとされている。管路の規模が大きくなるほど整備費用もかかるため口径の大きさに応じて費用を負担する口径別料金が導入された。

町長 口径別料金導入により基本料金が大幅に上昇し、大きな負担となるため、負担軽減策を提案したが聞き入れてもらえなかった。

議員 今回の大幅な料金引き上げは、国からの指導もあるかと思うが、他市町並みに水道料金を安定させるために国への支援を求める必要があると思うが、どうか。

町民生活課参事 佐賀西部広域水道企業団では、今後、管路耐震化、老朽化対策に多額の費用が見込まれている。水道料金の引き上げのみでは必要な予算確保が

口径	現行	改定後
13ミ	4,400	5,190
20ミ	4,400	6,660

(税抜き)

口径13ミリ ⇒ 790円増額
口径20ミリ ⇒ 2,260円増額

困難な状況にあるため、財政支援拡充と強化を図るため国に対し交付金交付率の引き上げ等を要望されている。

議員 料金改定後、町民の負担がどの程度増えるのか。また下水道料金もあわせて引き上げとなるのか。

町民生活課参事 一か月あたり使用料20㎡、4人家族で算定した場合、口径13ミリでは、現行の金額から790円の増額(18%増)。口径20ミリでは、現行の金額から2,260円の増額(51%増)となる。下水料金は、引き上げを行わない。

池田 和幸 議員



病氣にかからないためには

健康福祉課長

自分の健康は自分で守るという意識を持ち健康状態を正しく把握し、体調の変化に気づくことが重要

議員 私は今年6月末に体調の異変に気づき、かかりつけの病院を受診した。改善が見られなかったため、佐賀県医療センター好生館を紹介して頂き、受診した結果、血液検査で「悪性リンパ腫」という血液のがんであることがわかった。町では、国民の健康の保持増進を図られている。今年度の特定健診受診率の目標値と実際の受診率は、健康福祉課長 目標率は60%で、受診率は31・2%。

議員 令和6年度は、前年より前立腺がん、乳がん以外の検診受診者数が減少した要因は、健康福祉課長 職場検診や人間ドック、医療機関での任意検診等、受診方法の多様化、医療機関での定期検診等が減少理由として考えられる。

議員 自己防衛の意識

を高めるには、どのような指導助言が必要か。

健康福祉課長 自分の健康は自分で守るという意識を持ち、日頃から健康状態を正しく把握し、体調の変化に気づくことが重要。定期的に検診を受けることが自己防衛力を高める基本的な取り組みであると考えている。

議員 がんのリスクや可能性を評価する腫瘍マーカー検査を追加できないか。

健康福祉課長 国の指針では腫瘍マーカー検査は推奨されておらず、町の検診項目に追加する予定はないが、国の動向を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。

町長 特定健診受診率が低率であることに大変危機感を持っている。今後、受診率向上のために取り組んでいきたい。

学校施設の開放と
ネイブルの使用は

町長 今後、きちんと検証、整理することが大事

議員 学校施設利用要件に「町内在住在勤、在学する者で10人以上の団体」と規定されているが、どのような場合要件に該当するのか。

こども教育課長 団体構成員の中に町内に在住在勤、在学している子供、監督、指導者があわせて10人いれば該当する。

議員 ネイブルの指定管理者が変わるが、どのように事務を引き継ぐのか。

教育課長 引き継ぎが円滑に進むよう、移行支援チームを立ち上げた。

議員 施設利用を許可する際、町内外のクラブで優先順位があるか。

こども教育課長 町内ク

ラブ、団体が優先。

町長 町内クラブの定義が明確でないため、検証、整理していくことが大事だと思う。

畑川く電車道線の石垣の崩壊の対応は

地域づくり課長 8年度当初予算で設計費を計上し、設計に応じて工事予算を補正する

議員 上区区长から区内の危険箇所について要望書が2回提出されたが、その回答は。

地域づくり課長 1回目

は、職員とコンサル業者、2回目は、職員のみで現地確認をした。2回とも地元区長への回答はしていない。回答が遅れ、地元の方に心配をおかけした。今後は、適宜進捗状況をお伝えする。また、測量設計予算を令和8年度当初予算に計上し、設計に応じて工事予算を補正する予定。

町長 課内で報告をしていない。組織で仕事をするということが身につ



石垣が崩壊した危険な箇所

西原 好文
議員



我が町の防災対策について 今後の取り組みは

町長 効果を適切に発揚できるように、早めに整備箇所の選定に取り組みたい



電動化が完了した水門

議員 今年度整備が予定されている4か所のゲート電動化の進捗状況は。また、今後の整備計画はどうなっているのか。

地域づくり課長 今年度計画していた4か所は、11月までに全て整備を完了した。また、今後整備を予定している箇所は、事前落水ルート上の水門、樋管直近の水門で数は、最大で124。製造業者が1社のみのため、今後量産体制を確立していきたい。

議員 来年度のゲート電動化整備箇所は、早めに協議を行うべきだと思うが、町の見解は。

町長 電動化の効果を適切に発揚できるように、早めに箇所の選定に取り組みたい。

議員 来年度の整備箇所は、重要性を考慮し、排水樋管直近の7か所のゲートを優先的に整備していただきたいがどうか。

地域づくり課長 今年度整備した4か所についても樋管直近のゲート

を整備している。来年度の整備箇所についても、樋管直近のゲートから整備するよう排水対策連絡会で提案したい。最終的な設置箇所の決定については、水系ごとの意見を伺いながら進めていきたい。

議員 洪水の特別警報創設等、気象業務法が改正されたが、この改正により町の避難情報の発令はどうなるのか。

町長 法改正の内容を精査し、今後の避難情報発令の在り方、ハザードマップの見直し等を行っていききたい。

議員 内水氾濫対策協議のため小城市、大町町と実務者協議を求めているが、進捗状況は。

地域づくり課長 大町町とは、流域治水対策について協議し、今後も引き続き対策を検討する。小城市とは、令和8年1月に協議予定。



解体が検討されている老人福祉センター



解体が検討されるB&G体育館

議員 老人福祉センター、B&G体育館・温水プール、トレーニングセンターの今後の取り扱いが決定しているのか。

町長 明確な方針は、決定していないが、解体について検討している。

議員 女性ネットワークの会、老人クラブ連合会との意見交換会で、老人福祉センターの存続を望む声があったが、今後の方針は。

町長 施設の目的、利用状況、解体経費さらに、解体後の利用者の受け入れ体制等、あらゆることを想定し、検討を行い方針決定する必要がある。その中で解体についても検討している。

老人福祉センター、B&G体育館・温水プールトレーニングセンター、今後の取扱いは

町長 解体について検討している

田中 宏之 議員
たなか ひろゆき



我が町の中山間地域の農業は 今後どうなる

町長 中山間地農業の魅力を知っていただき、参画したいという人を増やしていきたい

議員 中山間地域は、日本の総面積の6割を占め、農地面積、農業経営体数、農業産出額はそれぞれ4割を占めていると言われているが、我が町の場合はどうなっているのか。

地域づくり課長 町の中山間地域の割合は、農地面積10%（103ヘクタール）経営体数18%（72戸）産出額10%（約2億4千万円）となっている。

議員 人口減少や高齢化により全国的に農家戸数が減少しており、特に中山間地では担い手不足が深刻だが、町の対応は。

町長 中山間地農業の魅力を知っていただき参画したいという人たちの増やしていきたい。
地域づくり課長 一部地域で農業法人や企業の参入ができた。今後地域とマッチングが叶えば県等の協力を得て

農業法人、企業の農地集積等にも取り組んでいきたい。

議員 野生鳥獣の生息地と農地が隣接している為、鳥獣被害を受けやすいが、町の対応は。

地域づくり課長 杵島地区有害鳥獣広域駆除対策協議会に負担金を拠出し、大町と広域的に対応している。イノシシ等の対策は、捕獲、ワイヤーメッシュ・電気柵・緩衝帯の設置補助を実施する。また中山間地7地区でイノシシの捕獲班を設置している。



効果的な鳥獣被害対策

議員 平地と比較して農業所得が低く、特に転作の大豆には登熟不

良等により収穫ができない圃場があるが、町はこの現状をどうとらえているのか。

地域づくり課長 米、麦、大豆は収穫量に平坦部と大きな差はないが、裏作の作付け率が低いことに加え、区画が狭く、作業効率が悪く労働力が多く必要となる等、複合的な要因により農業所得が低くなる傾向にあると考えている。

議員 中山間地農業に対し、国からの支援制度以外に、町独自の支援はできないか。



中山間地域に町の支援を

町長 町では、現在、国・県の補助、支援事業を有効に活用し、支援を行っている。支援とは、必ずしも金銭的なものに限られるものではないと思っている。観音下区へ企業を誘致し、農業の担い手を確保する等の取り組みも進めている。

今後は、中山間地域の魅力を情報発信し、中山間地農業の支援をしていきたい。

議員 中山間地農業において畦畔の除草作業は重労働である。そこで、小作契約を締結する際、農業委員会から地権者が畦畔管理するように提案できないか。
農業委員会事務局長 利用権設定手続きの際、地権者へ一言、畦畔の除草作業に協力いただくようお願いすることは可能だと思う。

お米券配布、 町の対応は

町長 国の動向を見極めて判断したい

議員 国は重点支援地方交付金を活用してお米券の配布を推奨しているが、町はお米券を配布するのか。

町長 現時点では、国の方針が明確でないため、お米券の配布は国の動向を見極めて判断していきたい。

議員 農家の方は、米価格の高止まりで米離れを危惧されている。お米券に限らず米の消費拡大に繋がる事業をお願いできないか。

町長 農業に資する取り組みであるなら必要だと思うが、お米券配布が中長期的な米の消費拡大につながるのかといったことも検討し、今回の交付金の使途を決めたい。

酒井 明子
さかい あきこ
議員



在宅介護中の家族介護者に対し、 家族介護慰労金を求む

町長 全国的な問題だが、生活のやりくりが難しい中で何か支援の手をと言うお声があるなら、町として当然耳を傾ける必要がある

議員 老人クラブ連合会との意見交換会にて、在宅介護の家族に対し何か援助をとの声を聞いた。現在の町内要介護4、要介護5の方の数、また在宅介護中の方の数は。

健康福祉課長 令和7年9月末で要介護4は77名、要介護5は37名、そのうち在宅介護中の方は7名。

議員 突然の事故や病で介護が必要な状況が誰にでも訪れる。家族が在宅で担う介護負担を少しでも労うため、家族介護慰労金制度を町で導入すべきと考えるがどうか。

町長 生活のやりくりが難しい中で何か支援の手が必要と言うお声があるのであれば、それは当然耳を傾ける必要があるが、在宅介護は、全国的な問題のため国を動かすようなことも必要だと思う。

野生動物被害の解決へ向け人材育成計画策定を求む

地域づくり課長

杵藤地区鳥獣被害防止計画にそった人材育成に努めている

議員 野生動物による農作物被害は全国的に深刻な事態にある中、捕獲従事者の高齢化が進んでおり、今後の人材育成は急務。町の人材育成計画はどうなっているのか。

地域づくり課長 町に人材育成計画はないが、杵藤地区鳥獣被害防止計画の中に①新規狩猟者の確保・育成②鳥獣被害防止の研修会開催③狩猟者をリーダーに地域ぐるみの捕獲体制整備といった人材育成方針があり、その方針にそった人材育成に努めている。

ネイブル空調工事進捗状況は

総務政策課長

工程どおり進捗し、令和7年度末までに工事完了予定



空調工事中 ネイブル

議員 空調整備は計画どおり進んでいるのか。

総務政策課長 さわやかスポーツセンターは設置終了し利用可能。ネイブルは職員が2週に1度立会い、進捗状況を確認しており、現状工程通り進捗している。令和7年度末までに工事完了予定。

議員 ネイブルは、指定避難所だが工事中は使用が難しい。工事期間中の代替えの避難所はどこになるのか。

総務政策課長 指定避難所は、ネイブル以外に10か所あり、避難所開設が必要な場合、災害の規模、種類等によって適宜お知らせをしていく。

エキ・キタの賑わい再度求む

町長 「自動販売機のテーマパーク化」のアイデアは面白い

議員 以前の答弁でエキ・キタ利用者へ役場駐車場を土日開放、「エキ・キタの日」をつくと発言されたが、いつ開始となるのか。



エキ・キタに賑わいを

は、土曜日の賑わいづくりを目標に、店舗の方と意見交換を重ねる方法を探っていきたい。

議員 賑わい創出のため、新たな集客のために自動販売機を設置し、将来的に「自動販売機のテーマパーク化」をすることができないか。

町長 自動販売機を設置することで店を開けなくても商品を提供できるため「自動販売機のテーマパーク化」のアイデアは面白い。町として事業性を考えて指示を出す。

古賀 里美 議員



三位一体(町民・行政・事業者)の 町営タクシー事業を望む

町長 町営タクシーは令和8年4月運行開始
三位一体で町のこれからの移動手段の確保をしていく

議員 来年4月運行を開始する町営タクシーは、有償運送なのか無償運送なのか。現在の進捗状況、また事業の概要について説明を求める。



令和8年4月運行開始

的に制限はないが、利用回数は、月8回までと制限がある。利用料は、片道100円(燃料代等実費の一部)をいただきたいと考えている。

議員 日曜祝日を休業とされているが、イベントや地域行事の多くが日曜祝日に開催されている。このような行事に高齢者の方々が参加いただくことが、健康づくり、孤立防止、地域の賑わい創出にもつながり、町営タクシー本来の目的である移動支援にも合致するものと考えている。柔軟な運行体制を検討できないか。



高齢者へ移動支援を

町長 せっかく町として事業に乗り出すので、町民の皆さんのニーズに添えてこそと思うているが、まず一定の制限、条件をつけてスタートさせていただく。
議員 タクシー業者が1社町内から撤退されるが、江北駅の構内タクシー(駅構内で待機するタクシー)は今後どうなるのか。新たに町外の事業者の乗り入れも可能となるのか。

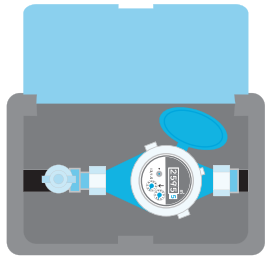


今後どうなる 構内タクシー

町長 構内タクシーは、JRが指定する。町内外のタクシー事業者3社が今現在JRに構内タクシーの申請をされている。
議員 町営タクシーは江北駅の構内タクシーに参入する予定はあるのか。
町長 町は、構内タクシーに参入する予定はない。民間の事業者にお任せして町はそれ以外のところをしつかりカバーしていきたい。
議員 町には共助の取り組みとして移動支援をされている団体が複数あるが、今後町から支援する予定はあるか。

町長 町には、大西区民を対象に移動支援をされている『大西未来ネットワークの会』と町内一円を対象とした『こうほく移動支援チーム』の2つの団体がある。それぞれの団体で支援対象、内容に違いがある。これらの支援チームの活動と連携して町営タクシーを運営していく必要があると思う。
議員 町営タクシーは事前登録制となっているが、町の利用者登録をすると同時にその他の移動支援チームにも会員登録できないか。
町長 それぞれ利用条件や支援内容が違うため同時に登録することは難しい。
議員 町営タクシー事業を実施し、高齢者の移動手段確保に、町が確実に一歩前進したことを評価したい。誰一人取り残さない移動支援の取り組みに期待したい。
町長 住民の皆さん、民間事業者さん、行政の『三位一体』で町のこれからの移動手段の確保をしていく。

総務文教
常任委員会



口径サイズダウンに補助を実施

問 運転免許証を返納された方に交付されているタクシー券を令和8年4月から運行開始予定の町営タクシーで使用することはできるか。

総務政策課長代理 町営タクシーでは使用することはできない。タクシー券は、町営タクシー以外の民間タクシーを利用する際に使用していただきたい。

問 水道量水器の口径を減径（サイズダウン）に要する費用を補助する事業を実施するが、一般的に量水器の減径にどの程度の費用がかかるのか。

子育て支援係長 うるる、ネイブルは児童一人あたりに対する面積基準を満たしている。毎年10人から20人程度利用者が増加しているため、民間のクラブと調整し受け入れをしている。今後も希望者が増加した場合、適宜協議し調整していきたい。



施設拡充が必要では

町民生活課参事 口径20ミリを13ミリにサイズダウンする場合、1万円前後の費用がかかる見込み。

問 町内の放課後児童クラブ施設は、利用者数に対し、手狭に感じているが、国の基準を満たしているのか。また、今後施設の拡充、改善の予定はあるか。

問 令和8年度からネイブル（佐賀のへそ・ふれあい交流センター）の指定管理者となる業者は、施設管理等業務の実績がない。適切に施設が維持管理されるよう、町が必要な指導や確認を行っていただきたいが、どうか。

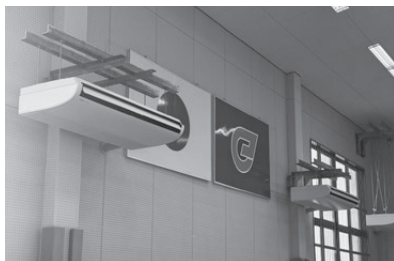
こども教育課長 新たな指定管理者に施設管理業務の実績はないが、福祉事業を展開されており、そういった経験のあるスタッフを配置し、対応される予定。ネイブルの人事については、町として適切に確認をしていく。また、新たな指定管理者からは、町民を主体とした運営委員会を開催し、利用者の声を聞きながら今後の事業を検討していきたいとの意向が示されている。町として、町民の声が適切に事業に反映されているか確認していきたい。

総務文教常任委員会町内等視察

当委員会に付託された議案及び議件について現地視察を行った。

①さわやかスポーツセンター

空調整備状況を確認。東側に設置された天井吊下式エアコンが一般的にあまり見られない設置方法であった。耐震性等不安があり、定期的な点検を求めた。



吊り下げ式エアコン

②幼児教育センター

防犯カメラの設置状況を確認。屋外カメラは、防犯対策として不審者への対応が適切にできていた。屋内カメラ



設置された防犯カメラ

③ネイブル（空調工事）

多目的ホールに設置するだけで効果を発揮する輻射式空調システムを採用し、工事中。令和8年3月までに設置完了予定。



空調設置工事中

条例改正

●江北町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（全員賛成で可決）

●江北町火入れに関する条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）

●江北町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（全員賛成で可決）

●児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（全員賛成で可決）

産業 厚生
常任委員会

問 出産・子育て応援事業で、国へ返還するためとして275万3千円の予算が補正されているが、その理由は、給付金支給対象者の数が減少しているのか。

健康福祉課長 当初は、給付金の予算が不足しないよう予算額を多く見込んでいた。給付金、人件費等の事務経費の実質支出額が見込より少なかったため返還することとなった。

福祉課長代理 給付金支給実績は、令和5年度が112人、令和6年度は79人と減少している。令和7年度は、前年度と同程度を見込んでいる。



出産・子育てを応援

問 江北町火入れに関する条例では、「町の森林又は、森林の周囲1キロメートルの範囲内の土地」における火入れに関する許可手続きについて規定しているが、この範囲外で火入れを行う場合の許可申請先はどこになるのか。



火入れには許可が必要

地域づくり課長 条例に規定する以外の土地で火入れを行う場合は、白石消防署が許可申請先となる。ただし、町のように許可証は交付されない。

問 届け出をせず、火入れを行った場合に罰則はあるのか。

農政係長 森林法に罰則規定がある。許可なく火入れをした場合、20万円以下の罰金（保安林の場合30万円以下）。また、他人の森林を焼いた場合30万円以下の罰金（保安林の場合50万円以下）等が規定されている。

問 豪雨等の影響により農地法面が崩壊した観音下地区2か所の災害復旧事業を行う予定だが、受益者分担金の支払いは誰がするのか。



崩壊した法面

農地防災係長 今回復旧を行う農地の所有者の方が受益者分担金を支払うことになる。

産業 厚生 常任委員会
町内視察

当委員会に付託された議案、及び議件について現地視察を行った。

① 町道東分く下惣線
交通安全対策

歩道の嵩上げによる冠水対策が予定されており、隣接する田畑への水の流入を考慮した工事方法を検討するよう要望した。



機能的な冠水対策を

② 長江湖排水樋管

懸案事項となっていた排水樋管に上がる階段は、国交省により整備され、また法面は、



電動化されたゲート



法面のコンクリート



整備された安全な階段

町で張りコンクリートを施工するといった安全対策が取られていた。

③ 観音下区農地

鹿島市の農業法人が参入予定の観音下地区内の農地を視察した。

④ 上区内危険箇所

一般質問で取り上げられた、上区内の石垣が崩壊している危険箇所を視察。住民の方から不安の声が寄せられた。

⑤ 町道安坂線

9月に施工した対策で落石対策はできていることを確認したが、今後も道路通行者の安全確保のため継続的な経過観察を求めた。



落石対策状況を確認

産業厚生常任委員会

(10月1日～3日)

行政視察研修報告

◆乾田直播水稻

(北海道・岩見沢市)

乾田直播水稻（乾いた畑状態の水田に直接稲の種もみをまき、発芽・生育後に水を入れて育てる水稻栽培方法）と地区の気候に適した畑作物や水稻を取り入れた独自の輪作



空知型輪作の主な品目と体系例

空知型輪作＝空知の「強み」を活かした輪作
～空知の気候に適した畑作物や水稻を取り入れた輪作～

【空知型輪作に取り組む理由】

- ・畑作物の連作障害回避
- ・雑草・病害虫低減
- ・各作物の収量向上



小麦の眼斑病



小麦 立枯病発生場所

規模を拡大された。畑作物の連作障害回避等のため、4種の作物を4年間でローテーションして栽培する独自の「空地型輪作」の一品目として乾田直播水稻を取り入れられていた。また、スマート農業にもいち早く取り組まれていた。

（「空地型輪作」について研修を行った。）

岩見沢市は、平成18年より国も省力化の一つとして推奨している

「乾田直播水稻」に組み立てられており、当初作付け面積2ha程度から市全体の作付け面積の25%、1,237ha（令和6年度）まで

◆町営タクシー事業

(北海道 増毛町)

本町では令和8年4月より町営タクシー事業開始が予定されているため先進地である増毛町の「有償旅客運送事業 あつぷるハイヤー」を視察した。



増毛町 あつぷるハイヤー

JRの運行終了、民間タクシー事業者の撤退等により地域住民の移動手段確保が喫緊の課題となり、令和3年4月、町職員が公用車を使用し、当初、無償運送で事業を開始された。その後、令和4年4月からは、有償運送

に変更され、現在は、車両2台、会計年度任用職員を3名雇用し、事業を運営されている。



営業日 月曜日～日曜日

受付時間 平日 9:00～23:30

日曜日 9:00～17:00

利用料金 初乗り ～1.7km

平日 300円 土日 500円

夜間 600円 以降 700m毎:100円

増毛町 運行内容

◆スマート農業・高品質・良食味米生産プロジェクト

(北海道 新十津川町)

高齢化による農家戸数の減少、労働力不足を見据え、平成30年からスマート農業の導入に取り組まれていた。ドローンによる農薬散布、自動操舵システム

等の導入により、農作業の効率化が図られ、少人数でも経営面積の維持、拡大ができるよう農家をサポートされていた。

また、令和3年からは、スマート農業の技術を活用した「高品質・良食味生産プロジェクト」にも取り組んでいた。さらに令和8年3月には、「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業の拡大、推進にも力を入れていく方針を打ち出されていた。

指定管理者の指定について

指定管理者の指定については、議会の議決が必要となる。12月定例会では、町内2施設の指定管理者について全員賛成で可決した。

○白木パノラマ孔園

(指定管理者)

有限会社 創立

(管理期間)

令和8年4月～

13年3月（5年間）

○佐賀のへそ・

ふれあい交流センター

(指定管理者)

株式会社 S・K

(管理期間)

令和8年4月～

13年3月（5年間）

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

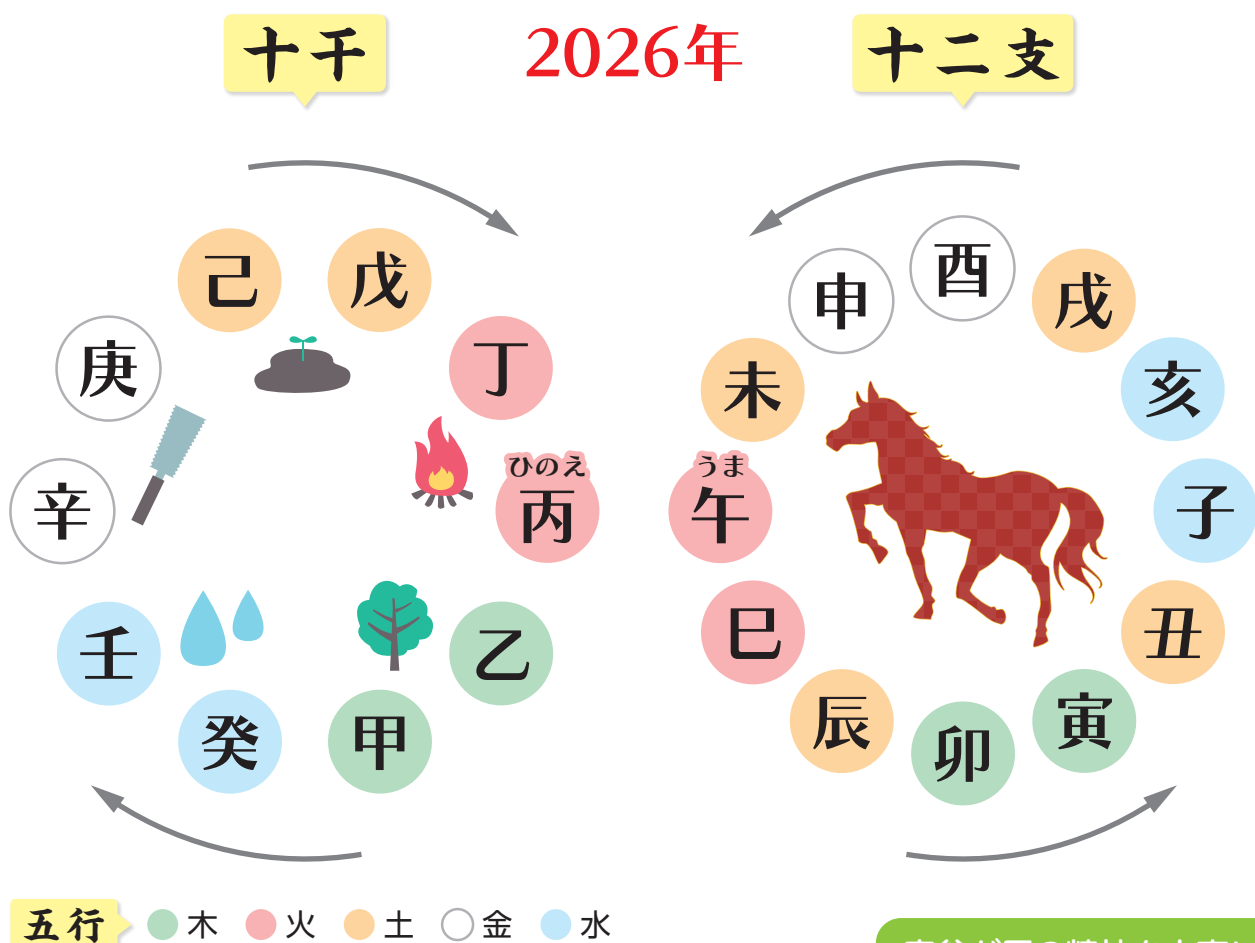
○交際費支出状況

(令和7年10月)

12月支出

項目	件数	支出額
会費	3	18,500
合計	3	18,500

60年に一度の丙午（ひのえうま）



塞翁が馬の精神を大事に。
(さいおうがうま)

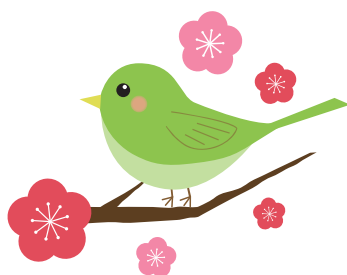
丙午（ひのえうま）は江戸時代の「八百屋お七」の逸話をきっかけに、「この年に生まれた女性は気性が激しい」といった迷信が広まったとされています。その影響は大きく、明治や昭和の丙午の年には出生数が大きく減少しました。しかし、これは科学的根拠のない言い伝えにすぎません。時代が進み、私たちは多様な価値観の中で生きています。過去の迷信をしりつつも、それにとらわれず、一人ひとりの個性や生き方を尊重する社会でありたいものです。

編集後記

2026年最初の議会だよりをお届けします。広報委員として3年目が過ぎようとしています。

町民の皆さんに議会の動きを分かりやすく、身近に感じていただける広報を目指し、最後まで責任を持って取り組んでまいります。本年もよろしく願っています。

(古賀)



議会広報委員会

委員長
副委員長

池田 和幸
土淵 茂勝
田村 康
古賀 里美
酒井 明子